

画材循環プロジェクト 巡り堂の一日

いらなくなった画材を、また誰かが使ってくれたら。
巡り堂は、京都・亀岡にあるまちの小さな美術館が、家財整理のプロと
ともに取り組み画材の循環プロジェクト。一度は役割を終えた画材を
いろんな人の手を介して、次の誰かの「つくること」へと繋げていきます。
さあ、今日も巡り堂にはさまざまな人が集まってきました。

まず家財整理へ

巡り堂は、家財の回収からスタート。引越し、
断捨離、遺品整理といった理由で相談があった
お宅へ、空っぽのトラックとともにたずねます。



画材を回収



家財を一つひとつ整理していくと、眠っていた画
材たちが集まっていきます。短い鉛筆、チューブ
が破れた絵の具、名前が書かれたノートも、使え
そうなものすべて回収！

作業場に運ぶ

日々回収される画材たちは、巡り堂の拠点であ
る美術館へと運びます。
画材を受け取るのは、さまざまな心の不調や
日々の生活に苦勞している人たち。人や社会と
交わる場としてここに集まり、一人ひとりが得
意な作業を手分けしておこないます。

拭く



きれいになる



仕分ける



届いた画材は、丁寧に拭いていきます。頑固な汚れは浸け置きしたり、ナイフで削り取ることも。
きれいの基準は「次の人が手に取りたくなるくらい」。膨大な画材たちが、ほしい人にしっかり届くよう
メンバーで話し合いながら、種類や色別ごとに細かく仕分けしていきます。

できあがり



人の手を巡り巡って、眠りからふたたび輝きを取り戻した画材たちは、さまざまな機会を通して、次の人のもとへとまた巡っていきます。

この活動がより健やかに巡るように、
応援して下さる方を募集しています。

- ① 運営のサポート
- ・ボランティアスタッフ
 - ・画材を必要とする人や団体の情報提供



- ② 資金の寄付
- ・メンバーの作業工賃
 - ・活動に必要な資金



寄付はコチラ

